

大 学 図 書 館 問 題 研 究 会 京 都

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34
(Tel) 075-574-4118

京都橘女子大学図書館 田北十生気付
(Fax) 075-574-4124

大 図 研 京 都 支 部 総 会 に 参 加 を !

9 月 2 9 日 (金) !

京都支部会員のみなさん、
京都で行われた全国大会のために延期になって居ました京都支部
総会を下記の要領で開催します。
会員のみなさんの積極的参加をお願いします。



記

日時：9月29日(金) 19:00～21:00
会場：京大会館 217号室

【全国大会成功裏に終わる！】

8月26日(土)～28日(月)の
3日間立命館大学で行われた第31回
大図研全国大会は、無事終了しました。

この大会成功のために連日ご苦勞
いただきました京都支部会員のみなさ
まに心からお礼申し上げます。

なお、大会の報告は「天学の図書館」
12月号に特集されるそうなので
参加されなかった方もご期待くださ
い。

目	大図研京都支部総会に参加を！……………1頁
	大図研京都支部報復刻版配布・販売中……………2頁
	第23回大図研京都支部総会議案……………3頁
	会費納入のお願い……………7頁
次	第12回支部委員会報告……………7頁
	第9回大会実行委員会報告……………8頁

ご意見・ご要望、投稿はメール、又はFAXで
編集気付 (kazuodesu@ma2.justnet.ne.jp) 田北まで

**大学図書館問題研究会
京都支部報復刻版 (CD-ROM版)**

配布・販売中!



大図研京都支部委員会

大図研 30 周年を記念して、大図研京都支部では支部報の復刻版 (CD-ROM 版) を発行しました。

内容は創刊号～150号 (1978/10/28～1997/8/15) の約20年間の京都支部報の現物写真版です。検索エンジンも搭載し、拡大、縮小いづれも可能、また必要であれば、プリントアウトもでき、持ち歩きも簡単ということで、冊子体よりも使い勝手が良いということでCD-ROM版にしました。

どうしても活字でご希望の方は、大変申し訳ありませんが、必要ページをプリントアウトしてください。(全部プリントアウトすると1,000ページを越えてしまいますのでご注意ください。)

■京都支部会員 無料配布 (送料支部負担、支部報郵送先に郵送します。)

新しく入会された方も同様です。今後も入会者には、無料で支給します。

■京都支部会員以外の方で復刻版をご希望の方は、有料 (原価) 販売します。

○販売価格 (京都支部会員以外) 1枚 2,500円 (送付の場合は、送料別途350円)

○申込方法 電子メール又はFAXで、京都支部 田北までお申し込みください。

E-Mail : kazuodesu@ma2.justnet.ne.jp FAX : 075-574-4124

* mail、fax 共に宛名・送付先を明記してください。

○配布方法 申請住所へ送付します。代金は現物到着後1週間以内に現物に添付の内容にしたがって送金してください。

■京都支部報の読者 特別価格2,000円 (送料無料) で販売します。

***お詫び**

紙面の関係等で「数珠つなぎ」を今月号はおやすみさせていただきます。

大学図書館問題研究会 第23回京都支部総会議案



【第1号議案】

1999年度活動総括 及び2000年度活動方針

はじめに

国立大学の独立行政法人化をめぐる動きの焦点は、文部省の「国立大学等の独立行政法人化に関する調査検討会議」に移っています。そこでは独立行政法人通則法の枠内での、法令面での措置や運用面での対応など制度の内容についての具体的な検討をすることになっていますが、基本的な方向としては「評価による資源配分」による大学の再編・淘汰に結びつく可能性を有しています。

一方、私立大学は、間近に迫った大学「全入」時代を前にして、経営面での厳しい状況に直面して、教育・研究面で改革を進め、社会との連携を模索しています。このような状況の中で、大学の一部署である図書館も無関係でありえず、予算と人員の抑制の中でのサービスの多様化、高度化を迫られています。このような時にこそ、ひとりひとりの専門的力量が問われますが、私立大学では図書館員の配転が常態化し、従来、専門的とみなされてきた業務のアウトソーシングが進み、現場での経験の蓄積というものが成り立たないという状況になってきています。

この困難な条件の中で、個々の図書館員の能力のレベルアップをはかるためには、すべての図書館員が協力し合い、情報の交換や研修の機会が継続的に提供されることが必要です。また、そのことが結果として利用者へのサービス向上につながることを積極的にアピールしていかなければなりません。

大学図書館問題研究会京都支部では、このような状況を踏まえ、図書館員のより高度な力量形成に向けて活動を展開して来ました。



1. 1999年度活動総括

(1) 例会の開催と会員間交流の発展

会員間の交流をはかるため、1998年度より再開された例会は、1999年度も11月例会「大学図書館と図書館の自由」、1月の近畿4支部合同例会「21世紀における書

店と図書館のあり方を考える」、3月例会「大学図書館のホームページを考える」、5月例会「栗東町立図書館見学」と交流合宿と開催することができました。

また開設2年目を迎えた京都支部メーリングリスト「ゆりかもめ」は、会員間の交流だけでなく、今年の4月からは全国大会運営の連絡用として活用されました。

(2) 支部報

支部報は毎月発行しています。好評の「数珠つなぎ」は4年間続いています。会員間の交流を深めるのに一定の役割をはたしています。新しいシリーズとして「私のインターネット活用術」を時々、掲載してきました。例会や支部委員会もこまめに報告し、最新の支部活動を伝えるべく、努力してきました。今後の課題として実務的な記事や実践報告を増やすことがあげられます。

また、大図研30周年を記念して、京都支部報復刻版のCDをこの8月の全国大会の前に作成、発行し、京都支部の全会員に配布しました。支部としてのこのような活動は画期的なものであり、これによって、京都支部の現在に至る活動の全容が明らかになりました。

(3) 京都支部ホームページの開設

昨年の9月にメーリングリスト「ゆりかもめ」のサーバーの移設の計画がもちあがった際に、京都支部のホームページもそこに開設し、メーリングリストと統合するという方向で準備を進めて来ました。そして今年の2月21日に京都支部のホームページを公開することができ、京都支部としての情報発信の基盤が整えられました。

内容については、支部紹介と入会案内・手続き、メーリングリスト「ゆりかもめ」の紹介、行事紹介、支部委員会報告、支部報目次など充実したものになっています。またリンクも実務に役立つことを念頭におき、精選されたものになっています。

また今年は第31回全国大会が京都で開催されますが、ちょうどタイミングよくホームページが活用できることになり、大会情報コーナーを新設することができました。

すでにホームページを見て、新規会員やメーリングリストの新規加入が増えたりといった効果が現れています。

支部でこのような充実したホームページを運営しているのも京都支部の注目すべき活動の側面としてとらえることができます。

(4) 第31回全国大会へのとりくみ

昨年の第30回全国大会の最中の8月7日に開催された第1回全国委員会で第31回全国大会の会場を京都支部で引き受けてほしいという要請があり、9月7日の支部委員会で引き受けることを決定しました。直ちに会場候補のリストアップに取りかかり、検討した結果、10月26日の第3回支部委員会において立命館大学に決定しました。この後、大会実行委員会を11月27日に発足させ、大会準備に向けての体制を整えました。会場運営、記念講演と開催地企画などの準備に取り組むとともに、京都支部ホームページを通じての広報活動も行うことができました。

8月26日から28日にかけての3日間、延べ139名の参加者を得て、好評のうちに

無事終わることができました。

(5) 組織活動

会員数は97名(1999年7月現在)から93名(2000年7月現在)と減少しています。入会者が4名ありましたが、これを上回る退会者が出たためです。退会者はほとんど退職者です。

また京都支部ホームページ開設に伴い、他支部の会員が、支部報の購読を希望するケースが出てきており、会員構成に変化が現れてきています。書店関係者の入会など、大学図書館の枠にとらわれない会員の幅の拡がりにも注目する必要があります。

しかし、組織の活性化のためには、若手の会員を増やすことが必要であることはいまでもありません。

(6) 財政活動

財政活動については、支部委員会として毎月状況を把握するとともに、前年度に引き続いて積極的な会費納入の働きかけを行った結果、2000年度会費の納入率は9月現在で71%に達しています。

特別事業基金については、今回、支部報復刻版の発行費用として活用しました。

2. 2000年度活動方針

(1) 研究活動のさらなる発展と会員間のコミュニケーションの重視

今年度も研究活動の充実をはかるとともに、会員間のコミュニケーションを促進するため、例会の開催や支部報の発行をはじめ一層の努力をします。

また直接に会員に声をかけ、積極的に交流の機会をつくることに努めます。

(2) 研究集会について

昨年度は、全国大会の準備のため、実施できませんでしたが、今年度は実施に向けて取り組みます。

(3) 支部報について

今年度も毎月の発行をめざします。

会員の多様なニーズに応え、読んで興味を持てる内容になるよう努力します。

読みやすい紙面づくりを心がけます。

できるだけ多くの人に気軽に執筆していただけるよう、努力するとともに、投稿規定も整備します。

(4) 会員を増やす活動

大学図書館問題研究会および京都支部の活動を説明し、会員を増やす活動を進めます。特に若手の会員を増やし組織の若返りをはかることを重視します。

そのために魅力ある企画を立てるように努力します。

(5) 会費を全員が前納します。

会員としての義務である会費納入を全員が確実に行いましょう。

財政活動を一層前進させるため、支部委員会において、毎回担当者から報告と提案を受け、全員で討議するなど集団的取り組みを強めます。

また、個々の会員に積極的に声をかけ、会費納入をはたらきかけます。

付：活動日誌**1999年**

7月24日(土) 第22回京都支部総会 (ビヤホール・ミュンヘン)

9月 7日(火) 第1回京都支部委員会 (同志社大学クローバーハウス)

10月 5日(火) 第2回京都支部委員会 (同志社大学クローバーハウス)

10月26日(火) 第3回京都支部委員会 (同志社大学クローバーハウス)

11月27日(土) 第1回大会実行委員会 (京大会館)

第1回京都支部例会「大学図書館と図書館の自由」

会場：日本イタリア京都会館

講師：若井勉 (立命館大学) 参加者数：9名

12月 7日(火) 第4回京都支部委員会 (同志社大学クローバーハウス)

2000年

1月11日(火) 第5回京都支部委員会 (同志社大学クローバーハウス)

1月22日(土) 第2回大会実行委員会 (京都私学会館)

近畿4支部合同例会「21世紀における書店と図書館のあり方を考える」

会場：京都私学会館

講師：南浦邦仁 (ジュンク堂書店京都店) 参加者数：40名

2月 8日(火) 第6回京都支部委員会 (同志社大学クローバーハウス)

3月 7日(火) 第7回京都支部委員会 (同志社大学クローバーハウス)

3月11日(土) 第3回京都大会実行委員会 (ビストロ・リップル)

第2回京都支部例会「大学図書館のホームページを考える」

会場：立命館大学国際平和ミュージアム

講師：井上雅人 (立命館大学総合情報センター)

参加者数：20名

4月11日(火) 第8回京都支部委員会 (同志社大学クローバーハウス)

4月14日(金) 第4回大会実行委員会 (京都大学附属図書館)

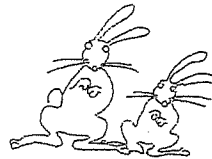
5月 9日(火) 第9回京都支部及び第5回大会実行合同委員会

- 5月27日(土)～28日(日)
第3回京都支部例会「栗東町立図書館見学」・交流合宿
参加者数：11名
- 6月6日(火) 第10回京都支部及び第6回大会実行合同委員会
6月28日(水) 全国大会宿泊施設及び自主企画会場下見
枳殻邸(きこくてい)使用申請手続きの件
(京都パストラル)若井、大館
- 7月1日(土) 全国大会会場下見(立命館大学アカデミア立命21)
出席：篠原俊夫、篠原恵子、若井、大館、井上
- 7月7日(金) 第11回京都支部及び第7回大会実行合同委員会
8月1日(火) 第12回京都支部及び第8回大会実行合同委員会
8月8日(火) 全国大会会場通信テスト
8月26日(土)～28日(月)
第31回全国大会(立命館大学アカデミア立命21)

(以下の議案は当日配布)

【第2号議案】

1999年度決算報告
1999年度予算及び会計監査報告



【第3号議案】

2000年度支部役員選挙

----- 会費納入のお願い -----

2000年度会費の納入をお願いします。1999年度会費未納の方は至急会費の納入をお願いします。

会費についての問い合わせは財政担当支部委員の中嶋スエ子さん、又は最寄りの支部委員又は、編集子までお願いします。

第12回京都支部委員会 第8回大会実行委員会報告(合同委員会)

1999年度第12回大図研京都支部委員会報告

日 時：2000年8月1日(火) 19:00 - 21:00
場 所：京都大学附属図書館3Fスタッフルーム
出 席：篠原、堤、若井、中嶋、呑海、田北、井上、菅、大館、
大綱(オブザーバー)

実質審議せず(時間的制約のため)。

大図研全国大会 (2000/8) 第 8 回実行委員会報告

- 日 時：2000 年 8 月 1 日 (火) 19:00 - 21:00
 場 所：京都大学附属図書館 3 F スタッフラウンジ
 出 席：篠原、堤、若井、甲嶋、呑海、田北、井上、菅、大館、
 大綱 (オブザーバー)

【報告事項】

1. 参加申込受付状況

- ・全体の参加者 58 名 (7 月 31 日までに入金確認済みの分)
 - うち京都支部 5 名
- ・懇親会参加者 48 名
- ・締切直前に申込が集中する可能性あり
- ・8 月 4 日以降に会員外の方からの参加申込の可能性あり。

【審議事項】

1. 大会までのスケジュール (作業計画)

以下の通り決定。

8 月上旬

- ・支部別参加者リストの作成 (担当：大館)
- ・分科会別参加者リストの作成 (担当：大館)
- ・懇親会参加者リストの作成 (担当：大館)
- ・常任委員および全国委員宿泊者リスト作成 (担当：大館)
- ・大会分科会別のアンケート用紙、
おおよび速報用コメント用紙作成 (担当：田北)
- ・観光案内パンフレット調達、会場周辺ガイド作成 (担当：若井)

8 月下旬

- ・キャンセル情報の集約 (担当：大館)
- ・参加費・写真代等の希望者への領収書準備

8 月 25 日 (大会前日)

- ・資料袋詰め
- ・会場設営 (情報機器、展示ブース、案内表示)
- ・飲み物類の準備
- ・京都支部と常任・全国委員の交流会



2. 大会運営体制について

- ・全体会の議長については、竹村氏にお願いするが、竹村氏が事情により出席できない場合は、篠原支部長が代理を務めることになった。
- ・記念講演の司会：呑海
- ・支部委員および実行委員

3. 大会役員の宿泊

- ・常任委員および全国委員の宿泊は予約済み

8 月 25 日 (28 名)	8 月 26 日 (31 名)	8 月 27 日 (30 名)
-----------------	-----------------	-----------------
- ・返事待ちの、全国委員が 2 名。(7 月 19 日現在)
- ・京都支部委員および大会実行委員で宿泊する者は各自手配する。

4. 記念講演

- ・講演者との事前の顔合わせと打ち合わせをする。(11:40 - 13:00)

5. 分科会

- ・障害者サービス分科会：ノートテイカーを確保する。
- ・DAISY 録音図書の再生機器を準備する。
- ・社会科学系分科会
 - ・経済学文献季報のレポーターとして京大経済研から報告を依頼する。
 - ・あわせて季報の採録担当者の参加も依頼する。

6. 自主企画について

- ・「図書館を自由に語る」は事情により取りやめ、「21 世紀の大学図書館像」をテーマとしたものを企画する。日時は 8 月 27 日の夜。

7. 通信テスト

- ・8 月 8 日に実施する。

8. 次回支部委員会および大会実行委員会予定

- 9 月 5 日 (火) 19:00 - (京都大学附属図書館 3 F スタッフラウンジ)